

製品・サービス動向-国内

■ヤマハ：オンライン遠隔合奏サービス
「SYNCROOM」を6月頃より公開予定

(PRTIMES:4月9日)

ヤマハ株式会社 (<https://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市) は、2020年6月頃より、オンライン遠隔合奏サービス「SYNCROOM」(シンクルーム) (<https://syncroom.yamaha.com/>) を公開する。



SYNCROOM (ヤマハ)

SYNCROOM は、インターネット回線を介して遠隔地間の音楽合奏を実現し、複数のユーザ同士(最大5拠点)でオンラインセッションが楽しめるサービス。インターネットにつながった自宅などのパソコンにアプリケーションをインストールし、ユーザ登録を行うことで、合奏に適したさまざまな機能を利用してオンラインセッションを無料で楽しむことができる。

一般的なIP電話や遠隔会議システムは通話や会議を想定して設計されていることから、一定の音声の遅れが生じる。そのため、こうしたシステムでは、お互いの音を同時に聞きながら合奏することは難しいという。

そこで SYNCROOM では、インターネット回線を介したオーディオデータの双方向送受信を極力小さな遅れで実現するヤマハ独自の技術を使用することで、遠

隔地間でも違和感をほとんど感じることなく快適にオンラインセッションを楽しめるサービスを実現した。

現在、SYNCROOM に先行して、ほぼ同等の機能を持つベータ版サービス「NETDUETTO β2」(2020年秋終了予定)を公開 (<https://www.netduetto.net>) している。

ヤマハでは、新型コロナウイルスの感染拡大により多くの活動が制限される中、同社のサービスが自宅などから安心して合奏を楽しむ一助となり、日常をすこしでも明るいものに変えるきっかけになればと考えている。

なお、SYNCROOM の詳細や具体的な公開日については公式サイトやニュースリリースを通して発表する予定。

■GN オーディオジャパン：フルデュプレックスオーディオ対応、少人数オンライン会議用スピーカーフォン「Jabra Speak 750」発売開始

(@Press:4月1日)

GN オーディオジャパン株式会社 (<https://www.jabra.jp/>) (東京都港区) は、少人数オンライン会議用スピーカーフォン「Jabra Speak 750」を4月1日より発売開始。

Jabra Speak 750 は、Jabra 初となる、業務用デュプレックスオーディオシステムの次世代モデル。

搭載している360度の無指向性マイクにより部屋にいる全員の音声を届けるとともに、デュプレックスオーディオ通信方式により、通話先もどちらの話者も

同時に話すことができ、自分が話している間も相手からの声を聞くことができるため、対面での会話のような自然なコミュニケーションが可能になっている。



Jabra Speak 750 (GN オーディオジャパン)

また、ノートパソコン、スマートフォン、またはタブレットといったデバイスには、USB あるいは Bluetooth を介してのプラグアンドプレイに対応している。加えて、Jabra Speak 750 を 2 台連結することで 12 名程度の会議にも対応することが可能となっている。

Jabra Speak 750 は、一方で、1 台のデバイスだけでなく最大 8 台のデバイスとペアリングできるようになっている。しかも、同時に 2 台のデバイスに接続できるマルチポイント機能も搭載している。

今回の発表で、GN オーディオジャパンは、Microsoft Teams 版と UC 版の 2 つのモデルを提供開始する。Microsoft Teams の認定を受けた Jabra Speak 750 Microsoft Teams 版には、通話の相手への即時接続を可能にする専用の LED ボタンが付いている。通知は会議に参加する時または着信があった時にユーザに知らせる。ボタンをタップすると、ユーザは進行中の Microsoft Teams の通話に直接アクセスすることができるため、常にクリック 1 つで連動することができる。

Jabra Speak 750 UC 版は全ての主要 UC プラットフォームと互換性があり、Siri、Google Assistant また

はスピードダイヤルを設定できる Smart ボタンが付いている。

なお、本体サイズは 155mm x 152mm x 55mm。重さは 301g。USB 経由で充電できるようになっており充電時間は約 3 時間。1 回の充電で最大 10 時間連続使用が可能になっている。価格は 44,000 円 (税別)。

GN オーディオジャパンは、デンマーク (コペンハーゲン) を本拠とする業務用およびオフィス向け、コンシューマー向けヘッドセットブランド Jabra (ジャブラ) を展開する GN Audio A/S 社の日本法人。Jabra は全世界で約 1,400 人を雇用し、2019 年の年間収益は 62 億 DKK (約 985 億円) に上る。1869 年に設立された GN グループは、現在 100 か国で事業を展開し、6,000 人を雇用しており、ナスダックコペンハーゲンに上場している。GN グループは、革新性、信頼性、使いやすさを提供し、より良いライフスタイルの実現をサポートしている。

■Chat&Messenger: ログイン不要の「クイック Web 会議」をリリース

(PRTIMES: 4 月 11 日)

株式会社 Chat&Messenger (<https://chat-messenger.com/>) (東京都港区) は、同社が提供するグループウェア「Chat&Messenger」において、新機能としてログイン不要の「クイック Web 会議」をリリースした。

Chat&Messenger は、ビジネスチャット、Web 会議、スケジュール管理、ファイル共有、文書管理、施設予約を統合した無料で使えるグループウェア (有料プランもあり)。チーム毎のポリシーに応じて、オンプレミス・クラウド・テレワークを使い分けるハイブリッドモデルを提供している。

今回発表したクイック Web 会議は、相手側ログイン不要でセキュアに Web 会議や資料共有ができるもの。期限付きの URL を生成し、相手側にメールで共有する

だけで社外ユーザと簡単・セキュアに Web 会議・資料共有ができる。



クイック Web 会議 (Chat&Messenger)

同社によると、緊急事態宣言で外出自粛が求められる中、「オンライン商談」「オンライン診療」での利用のため、問い合わせが急増しているという。新型コロナ対応の医療機関は、収束まで無料かつ無制限で提供するとしている。

■ティ・アイ・エル：ビデオ会議音声テキスト化ツール「RECORiS for Video」を開発

(PRTIMES:4月10日)

ティ・アイ・エル株式会社 (<https://tilab.jp/>) (東京都千代田区) は、新型コロナウイルスの影響によりテレワークを導入している企業をサポートするシステムとして、ビデオ会議音声テキスト化ツール「RECORiS for Video」を開発した。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、テレワークを導入する企業が増えており、ビデオ会議を行うケースは急激に増加している。在宅作業環境下で行わ

れるビデオ会議やセールス活動は、企業管理者から目が届かず管理やコンプライアンス遵守が困難という。そこでこのような環境下で、ビデオ会議の音声を録音・テキスト保存し、禁止語句検知やアラートを出す機能を拡張開発した RECORiS for Video のβ版をリリースした。

RECORiS for Video βは、Windows OS 環境の WEB ブラウザで行われるビデオ会議の音声を録音、テキスト化する。これにより、ビデオ会議の内容を議事録として残したり、全会話のテキストデータからキーワード検索することもできる。いつ誰がビデオ会議を行っていたかを検索できるため、架空会議の抑止にもつながる。

さらには、業種に特化したキーワードを事前に登録しておくことで、頻出キーワードレポートの作成も可能となっている。

今後は、PC 用のビデオ会議アプリ (Zoom、Skype、ハンガアウトなど) や Mac OS 対応などを予定しているという。

■日本コパック：Web 会議・テレビ会議向け、工具不要で組み立て簡単な、吸音効果の高いパーテーションを受注生産で販売開始

(4月14日)

日本コパック株式会社 (<https://www.copack.co.jp/>) (東京都台東区) は、部屋での Web 会議にまつわる反響音について吸音効果の高いパーテーションを5月より受注生産で販売開始する。納期は約 1.5 カ月で一部は在庫販売もする。

新型コロナウイルスの感染拡大で Web 会議やテレビ会議の利用が増えている。しかし一方で、会社内でテレビ会議を実施する場所の不足が問題になっている。会議室はいっぱい、オープンなデスク場所で実施すると隣の声が入ったり、周りの人への会議の内容が筒抜けになったりといった課題がある。

そういった環境では吸音性の高いパーテーションは効果があるという。音は壁・床・天井に当たり、さまざまな方向に反射して反響することで騒音になる。音が反響することで声の明瞭度が下がり、聞き取りにくくなってしまいます。吸音により反響音を抑えることで騒音を抑えることができるという。



組み立て例（日本コパック）

る。

パーテーションはポリエステル 100%のリサイクル可能な素材を使用。提供するサイズは、幅が 600mm から 900mm で、高さが 1300mm、1500mm、1800mm を用意。色は、オレンジ、イエロー、ライトグリーン、ベージュ、グレー、ダークグレーの 6 種と豊富に用意しオフィス空間を明るく引き立てるとい

ITEM LIST 商品一覧		H1860		FABRIC COLOR		【別売りパーツ】
H1360	H1540	[Color swatches]		生地基本色 計6種		キャスター脚
※アジャスター脚付（標準仕様）		別色対応可能		※別色の生地と兼用の場合別途にて対応可能です。（別途、納期・お見積り必要）		※別色対応の生地色は最終ページをご確認ください。
W600mm		W900mm				
品番	サイズ	品番	サイズ			
FTM-60130	H1360 x T30 mm	FTM-90130	H1360 x T30 mm			
FTM-60150	H1560 x T30 mm	FTM-90150	H1560 x T30 mm			
FTM-60180	H1860 x T30 mm	FTM-90180	H1860 x T30 mm			

パーテーション商品一覧（日本コパック）

ビジネス動向-国内

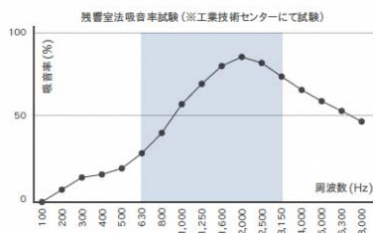
■シネックスジャパン：アンカー・ジャパンと販売代理店契約を締結

（PRTimes: 4月2日）

シネックスジャパン株式会社 (<https://www.synnex.co.jp/>)（東京都江東区）は、アンカー・ジャパン株式会社 (<https://www.ankerjapan.com/>)（東京都中央区）と販売代理店契約を締結した。法人向けに Anker 製品を 4 月 2 日より提供開始する。

新型コロナウイルス予防を受けテレワーク推進を検討する企業は増加の一途をたどっている。メールや Web 会議の場所を選ばずにスマートに行うため、コンシューマー・エレクトロニクス市場で人気の高い Anker 製品の需要が法人市場でも高まりを見せているという。

今回のシネックスジャパンとの契約締結は、アンカー・ジャパンにとって、日本国内法人市場の販売網のさらなる拡大とテレワークも含めたさまざまなライ



生活の中で聴く音の周波数の目安
 250Hz: 冷蔵庫の機械音
 500Hz: 男性の話し声
 1,000Hz: 女性の話し声
 2,000Hz: 赤ちゃんや子供の泣き声
 4,000Hz: セミの泣き声

吸音率試験結果（日本コパック）

そこで、同社では、通常よりも高密度なフェルトを用いた吸音性の高い、簡単にその場で組み立て組み換えが出来る、Web 会議用パーテーションを提供する。音の反射を抑え、室内の音を減らし、外への音漏れを防ぐ。約 630Hz から大きく上昇し、1,000Hz の時点で 50%、2000Hz で 86%と、中音域～高音域に対する吸音効果が高いところに特徴がある。

新開発のワンタッチ式連結で、工具不要でワンタッチジョイントできる簡単施行。たとえば、一人用の Web 会議ブース、2～4 人用の Web 会議ブース、パーソナルブースなど間仕切りやソファ周りなど好みのレイアウトを幅広い用途でさまざまな空間にフィットす

フスタイルにおけるソリューションの提案を目的としている。



Anker 製品 (シネックスジャパン)

ノート PC 付属品よりコンパクトな上に、60W の高出力を実現した急速充電器や、会議用 Bluetooth スピーカーフォンは、オフィス利用はもちろん、自宅など就業場所を選ばないワークスタイルにおける利便性の高さが市場で高く評価されている。

シネックスジャパンとしては、同社の保有するテレワーク推進に向けた各種情報と合わせて取り扱うとしている。

ビジネス動向-海外

■Pexip：2020 年第一四半期業績において記録的な高成長を記録、ARR 前年比 50%増

(4 月 6 日)

Pexip 社 (<https://www.pexip.com/>) は、2020 年第一四半期以降、契約年間経常収益 (補足：ARR, Annual Recurring Revenue。一年間に入ってくる収益を指し、ここでは有償契約に基づく収益を意味する。クラウドサービスでは重要な指標のひとつ。) が前年比で 50% 増加したことを発表した。これは 2019 年会計年度終了時に記録された前年比 32% を上回るもので、同社にとっては記録的な高成長を達成したことになる。

50% 増加することで 2020 年第一四半期において増えた収益は 950 万ドルとなり、年間経常収益 (ARR) ベースに換算すると 5,670 万ドルとなる。また、Pexip

サービスによるピークトラフィックが過去 1 カ月間だけで 7 倍に増加している。

一方、同社の過去 12 カ月の売上継続率 (補足：NRR, Net Revenue Retention。既存顧客がどのくらい収益に貢献しているかの指標。) は、第一四半期で 113% (収益ベースで算出) であった。これは 2019 年第 4 四半期の 99% から向上したことになる。

これらの成長のかなりの部分は、いくつかの世界最大の企業といった既存の顧客からの需要の増加によるもの。とりわけ安定ならびにセキュアなビデオ通信を必要とする医療提供者や政府からの需要が高まっているという。

2019 年からの堅調な業績の伸びとともにコロナウイルスに端を発したテレワークなどの行動変容によってビデオコミュニケーションはさらに加速されている。同社によるとコロナウイルス終息後もこの傾向は続く と期待している。

Pexip 社は、国際標準に対応したビデオ会議システムとの接続のほか、マイクロソフトや Google ソリューションとの高い相互運用性に特長のある、スケーラブルなクラウドネイティブプラットフォームを提供している。プライベートクラウドとして Azure・Google Cloud・AWS のいずれの環境にも Pexip サーバをユーザ独自に構築できるとともに、ハイブリッドクラウドの構築、さらには、Pexip をサービスとして利用することも可能になっている。加えて多様な API セットにも特長があり、顧客の固有のニーズに合わせてカスタマイズにも対応している。Pexip 社のソリューションは世界 75 か国の 300 販売代理店パートナーを通じて販売されており、190 か国以上で運用実績がある。

問い合わせは、Pexip 社日本代表 関根徹氏 (toru.sekine@pexip.com) へ。

サービス等無償提供発表企業

コロナウイルスの影響からテレワークや在宅勤務を行う企業などが増えています。そういった企業などを支援する目的で遠隔会議・ユニファイドコミュニケーション提供会社がサービスなど無償提供を行う動きがとくに2、3月に入ってから活発になっています。

ここでは、CNA レポート・ジャパンが3月15日現在（その後3月31日も追加しています）把握した、無償提供もしくは機能拡張などのプレスリリースを行った提供会社の名前と URL（ホームページもしくは当該ページ）を掲載します。各社期間限定となっています。詳細は各社ホームページまたは直接お問い合わせください。皆様のご参考になればと思います。（順不同）

- 経産省（学びを止めない未来の教室、Zoom 教育関係）：
https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/zoom/
- ライフサイズ社（クラウドサービス）
<https://pages.get.lifesize.com/remote-work-with-lifesize/>
- インタビューメーカー（Web 面接）
<https://interview-maker.jp/>
- ドコモシステムズ（Web 会議 sMeeting）
<https://ddreams.docomo-sys.co.jp/smeeting/>
- RSUPPORT(Web 会議 RemoteMeeting など)
<https://www.rsupport.com/ja-jp/>
- DialPad(クラウド PBX)
<https://www.dialpad.co.jp/>
- アバー・インフォメーション（デモ機など無償貸出し）
<https://jp.aver.com/>
- ブイキューブ（V-CUBE ミーティング、営業、教育向けなど）
<https://jp.vcube.com/>
- ベルフェイス（営業特化 Web 会議）
<https://bell-face.com/>
- プリンストン（クラウド会議サービス BlueJeans）
<https://www.princeton.co.jp/news/2020/03/202003101100.html>
- AloT クラウド（Web 会議）
<https://www.aiotcloud.co.jp/>

- ポリグロットリンク（遠隔通訳サービス、学校向け）
<https://polyglot-link.co.jp/>
- ギンガシステム（LoopGate for PC/Tablet）
<https://ginga-sys.jp/>
- シスコシステムズ（Web 会議 Webex）
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/webex/90days.html
- ネオキャリア（Web 会議 Calling）
<https://www.calling.fun/>
- meet in（Web 会議ミートイン、教育向け）
<https://meet-in.jp/>
- マルジュ（Web 面接 SOKUMEN）
<https://www.maru.jp/sokumen/>
- トラストバンク（自治体専用チャット LoGo）
<https://www.trustbank.co.jp/>
- ビジョン（ビジネス向け SNS ツール JANDI）
<https://vws-biz.com/jandi/>
- StarLeaf/メディアプラス
<https://www.starleaf.jp/>
- 日本アバイア（Avaya Spaces、教育機関・非営利）
（在宅コンタクトセンター）
<https://www.avaya.com/jp/>
- シャープマーケティング（TeleOffice）
<https://www.ideep.com/>
- DMM 英会話（Bellbird ビデオ通話サービス）
<https://eikaiwa.dmm.com/app/meeting>
- Vonage（Vonage Free Conferencing）
<https://freeconferencing.vonage.com/>
- ロゼッタ（遠隔会議上音声翻訳ツール）
<https://www.jukkou.com/lp/onvaku.html>
- ニューロネット（Web 会議 SaasBoard）
<https://www.neuronet.co.jp/>

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（4月～6月）

「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」、「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「テレワーク環境をスムーズに整える秘訣とは？～安心してテレワークするための IT ツールガイド～」 など
会場：（東京・大阪・Web セミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の

情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>